

# 令和6年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

## 面接個票【第3次選考】(自己PR)

大阪府教育委員会

配席番号

【記入要領】16参照

※別紙記入要領をよく読んでから記入してください。

別紙記入要領にしたがって個票を作成し、4枚(原本1枚、写し3枚)の面接個票を面接当日に持参してください。

- ① 必要事項を記入し、写真を貼付してください。
- ② 次にコピーを3部取ってください。(裏面に記載がない場合は片面のみコピー、裏面に記載がある場合は両面コピーする。サイズはA3。)

この枠内に写真(上半身、正面)を貼付すること。(4cm×3cm)  写真の裏に受験番号及び氏名を記入して貼付してください。  (6ヶ月以内のもの) <small>【記入要領】15参照</small>	受験番号	選考区分・出願区分 <small>【記入要領】5参照</small>					
	加 点 <small>【記入要領】6参照</small>	校種等 <small>【記入要領】7参照</small>	※受験票に記載された 教科(科目) <small>【記入要領】8参照</small> ( )				
	ふりがな 氏名 (受験票と同一氏名)	生年月日(R6.4.1 時点の年齢) 昭和 年 月 日生( 歳) 平成					
	現住所 〒	電話 ( ) ( ) - ( ) 携帯 ( ) ( ) - ( )	方呼出し				
現住所以外 の連絡先 〒	電話 ( ) ( ) - ( )	方呼出し					
<b>学 歴</b>  <small>【記入要領】10参照</small>	在学期間	所在地	種類	学校名	区分	所有(見込)免許状 <small>【記入要領】11参照</small>	
	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月	都道府県	国立・公立・私立	(高等学校)	卒業	種 類	取得(見込)年月
	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月	都道府県	国立・公立・私立	(大学)	卒業 卒見		S・H・R 年 月
	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月	都道府県	国立・公立・私立	(大学院)	修了 修見		S・H・R 年 月
	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月	都道府県	国立・公立・私立				S・H・R 年 月
	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月	都道府県	国立・公立・私立				S・H・R 年 月
	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月	都道府県	国立・公立・私立				S・H・R 年 月
教育実習校名 <small>【記入要領】12参照</small>		卒論・演習等テーマ	過去に経験した校務分掌等 (現職教諭のみ記入) <small>【記入要領】13参照</small>	所有(見込)資格		資格名	取得(見込)年月
立	学校(S・H・R 年 月)						S・H・R 年 月
立	学校(S・H・R 年 月)						S・H・R 年 月
立	学校(S・H・R 年 月)						S・H・R 年 月
<b>職 歴</b>  <small>【記入要領】14参照</small>	期間	所在地	勤務先・職名				
	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月	都道府県					
	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月	都道府県					
	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月	都道府県					
	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月	都道府県					
	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月	都道府県					
	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月	都道府県					
	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月	都道府県					
	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月	都道府県					
	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月	都道府県					

○志望動機について 【記入要領】17参照

○これまで取り組んできたことについて 【記入要領】18参照(各選考区分・出願区分にしたがって、記入してください。)

○ボランティア・クラブ活動等の経験について 【記入要領】19参照  
都道府県等が行う、いわゆる「教師養成塾」等(「大阪教志セミナー」を含む)に参加した経験についても、この欄に記入してください。

○アピールしたいことについて 【記入要領】20参照

【賞罰欄】 【記入要領】21参照

有・無	年 月 日	賞罰歴の内容等

【署名欄】 【記入要領】22参照

本書類に記入した事項は事実と相違なく、受験要件等を満たしていない場合や、採用するに相応しくない非違行為が判明した場合、あるいは、出願内容等に虚偽の記入があった場合には、合格の取り消し又は受験が無効となり得ることについて了承します。

また、私は、地方公務員法第16条及び学校教育法第9条に該当していません。

年 月 日  
氏 名



## 面接個票の取り扱いについて（注意）

- この面接個票は、第3次選考面接テストの際に使用するものです。面接試験に支障をきたしますので、あらかじめ記入して面接当日に必ず持参してください。面接当日に持参しなかった場合は、個人面接テストを受験できないことがあります。
- 記入する際は、書き損じ、用紙の汚損等のないように注意してください。

### 【記入要領】

■次の要領にしたがって個票を作成し、4枚（原本1枚、写し3枚）の面接個票を面接当日に持参してください。

- 必要事項を記入し、写真を貼付してください。
- 次に、コピーを3部取ってください。（裏面に記載がない場合は表面のみコピー、裏面に記載がある場合は両面コピーする。サイズはA3。）

- 折り曲げるときは二つ折りにしてください。
- 原本の記入は必ずボールペンを使用してください。消えるボールペンは使用しないでください。
- 別紙への記入や資料の添付は認めません。記入事項は、すべてこの用紙の指定された欄に納まるようにまとめてください。
- 書き誤ったときは、2本線で消して訂正してください（訂正印不要）。
- 選考区分・出願区分**の欄には、以下の表を参照のうえ、各自の区分に応じて記入してください。

選考区分・出願区分	面接個票への記入
一般選考（一般対象者）	一般（一般）
一般選考（大学等推薦者）	一般（大学推薦）
特別選考（障がい者対象の選考）	特別（障がい）
特別選考（現職教諭対象の選考）	特別（現職教諭）
特別選考（大学院進（在）学者対象の選考）	特別（大学院）

- 加点**の欄には、以下の表を参照のうえ、記入してください。

加点	面接個票への表記	加点	面接個票への表記
A; B~K、特支免所有、小・中複数免許所有以外	A	H; 看護師免許所有者	H 看護
B; 社会人経験者	B 社会人	I; 柔道整備師免許所有者	I 柔道
D; 教職経験者	D 教職経験者	J; 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士免許所有者	J 理学・作業・言語聴覚
E; 英語資格所有者	E 英語資格	K; 社会福祉士・公認心理師・臨床心理士資格所有者	K 社会・公認・臨床
F; 理科教育経験者	F 理科	特別支援学校教諭免許状所有に係る加点	特支免所有
G; 司書教諭資格所有者	G 司書	小学校・中学校教諭複数免許所有に係る加点	小・中複数免許所有

- 校種等**の欄には、以下の表を参照のうえ、各自の受験校種等を記入してください。

校種等	面接個票への表記	校種等	面接個票への表記
小学校	小	支援学校 幼稚部・小学部共通	支援（幼小）
小中いきいき連携	小中	支援学校 小学部	支援（小）
中学校	中	支援学校 中学部	支援（中）
高等学校	高	支援学校 高等部	支援（高）
養護教諭	養教	支援学校 自立活動	支援（自立）
栄養教諭	栄養	支援学校 理学療法	支援（理学）

- 教科(科目)**の欄：校種等の欄に「中」、「高」、「支援（中）」、「支援（高）」と記入した人のみ、国語、数学、英語等の教科名を記入して下さい。ただし、科目区分のある教科については、地理歴史（世界史）、公民（倫理）、理科（化学）、工業（機械）のように、（ ）の中に科目名を記入してください。

- 現住所以外の連絡先**の欄：現住所以外に連絡をとれる連絡先がある場合は記入してください。

- 学歴**の欄：高等学校卒業から現在までの間の学歴を記入して下さい。  
※ 書ききれない場合は裏面に記入してください。それでも欄が足りない場合は2段書きにするなど工夫してください。

学歴	在学期間	所在地	種類	学校名	区分
〔記入要領〕 10参照	①年 0月 4月～②年 0月 3月	大阪	③ 国立・公立・私立	(高等学校) 〇〇高等学校 〇〇科	④
	①年 0月 4月～②年 0月 3月	奈良	③ 国立・公立・私立	(大学) 〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科	④
	①年 0月 4月～②年 0月 3月	奈良	③ 国立・公立・私立	(大学院) 〇〇大学大学院 〇〇研究科	④
	①年 0月 4月～②年 0月 9月	兵庫	③ 国立・公立・私立	〇〇大学 〇〇学部 〇〇科	退学
	①年 年 月～②年 年 月	京都	③ 国立・公立・私立	〇〇大学 〇〇学部 〇〇科	科目等履修生

- 所有(見込)免許状**の欄：教育職員免許状について受験校種・教科の免許状から記入し、令和6年4月1日までに取得見込のものを含め、すべて記入してください。6つ以上あるときは、裏面に記入してください。なお、司書教諭資格などは、**所有(見込)資格**の欄に記入してください。
- 教育実習校名**の欄：実習を行った学校をすべて（3つある場合は3つとも）記入してください。また、実習を行っていない人及び教科により実習が必要でない場合は、その旨を記入してください。
- 過去に経験した校務分掌等（現職教諭のみ記入）**の欄：現職教諭のみ、経験年数の長いものを中心に「教務部（3年）」などのように記入してください。
- 職歴**の欄：職歴を時系列に沿ってすべて記入してください。

※ 「いずれの学校にも所属せず、かついずれの仕事にも従事していない空白の期間がある」場合は、その期間を記入し、職歴欄に「在家庭（〇年〇か月）」と記入してください。（※教職歴の場合は例外あり。（以下参照））

※ 「教職歴」を記入する場合における期間の考え方（講師等（非常勤講師も含む）の場合）  
継続して「同一校において同職名」で勤務していた場合については、空白期間（発令と発令の間の期間）が2か月以内であれば1つの期間にまとめて記入してください。（複数年度にまたがる場合も、空白期間が2か月以内であれば、1つの期間として記入してください。ただし、同一校において継続して勤務していた場合であっても、職名が変わっている場合は分けて記入してください。）

※ 職歴欄の記入例  
株式会社△△△ 正規職員  
↳ 非正規職員（パート・アルバイト等は非正規職員と記入）・派遣職員など  
□□立□□学校 教諭  
↳ 講師・産休臨時講師・育休臨時講師・非常勤講師など

※ 書ききれない場合は裏面に記入してください。それでも欄が足りない場合は2段書きにするなど工夫してください。

- 写真は、この個票の所定の欄にしっかり糊づけしてください。その際、はがれた場合のために、写真の裏面に受験番号と氏名を必ず記入しておいてください。

- 右上欄外の「配席番号」の欄は、当日に使用しますので、空欄のままにしておいてください。

- 〇志望動機**の欄：あなたが教員を志望したのは、どのような理由からですか。また、あなた自身のどのところが、教員に向いていると考えますか。さらに、教員としてどのようなことに重点的に取り組んでいきたいですか。具体的に記入してください。

- 〇これまで取り組んできたことについての欄**

**一般（一般）、一般（大学推薦）、特別（障がい）**

これまで、最も力を入れて取り組んでこられたことは何ですか。また、そのことが、学校教育にどのように役立つかについて具体的に記入してください。

**特別（現職教諭）**

これまで、教員としてどのようなことを心がけて実践をしてきましたか。具体的に記入してください。

**特別（大学院）**

大学院ではどのような研究をされてきましたか。概要を記入してください。また、大学院で研究したことを教員としてどのように活かしていきたいですか。具体的に記入してください。

- 〇ボランティア・クラブ活動等の経験**の欄：スクールサポーターや子ども食堂、その他のボランティア等の経験、クラブ活動の経験等について、具体的に記入してください。

- 〇アピールしたいことについての欄**：「教員に向いているところ」、また、「教員として活かすことができる経験等」があれば記入してください。また、特にアピールしたい経験や特技等があれば具体的に記入してください。

- 賞罰**の欄：罰金以上の刑に処せられたこと又は懲戒処分若しくは分限処分を受けたことの有無について、「有・無」のどちらかを○で囲み、「有」の場合は、判決確定年月日等又は処分年月日とその内容（例：平成25年7月 懲戒免職児童に対するわいせつ行為）を記入すること。

※ 学校教育法第9条に定める教員等の欠格事由の一つである「禁錮以上の刑に処せられた者」には、  
・ 禁錮以上の刑に付された執行猶予の期間  
・ 禁錮以上の刑の執行を終わり又はその執行の免除を得たときから、罰金以上の刑に処されることなく10年を経過するまでの期間  
にある者も含まれるため、記入に当たって留意すること。

- 署名欄**：氏名欄と同じ氏名で署名してください。

※ 面接テスト当日は面接個票のみ回収します。（記入要領その他一切の用紙については回収しません。）